



変える、自らを。変える、未来を。

# 2020年9月期第1四半期 決算概要 (2019年10月1日～2019年12月31日)

シミックホールディングス株式会社  
2020年2月3日

# 事業セグメントとグループ各社

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2019年12月末時点）
<b>CRO事業</b>	製薬企業の医薬品開発支援、分析化学サービス	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミック・シフトゼロ(株) CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC Asia-Pacific (Hong Kong) Limited CMIC ASIA-PACIFIC (PHILIPPINES), INC. CMIC ASIA-PACIFIC (AUSTRALIA)PTY LTD CMIC (Beijing) Pharmaceutical Services Co., Ltd. CMIC (Beijing) Co., Ltd. CMIC DATA SCIENCE VIETNAM COMPANY LIMITED シミックファーマサイエンス(株) CMIC, INC. CMIC (Suzhou) Pharmaceutical Technology Co., Ltd.
<b>CDMO事業</b>	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで医薬品製剤開発・製造支援に係る業務	シミックCMO(株) シミックCMO西根(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックJSRバイオロジックス(株) ※
<b>CSO事業</b>	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務	シミック・アッシュフィールド(株) (株)マツキャンエムディエス ※
<b>ヘルスケア事業</b>	SMO（治験施設支援機関）業務、ヘルスケアサービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務並びにBPO・人材サービスに係る業務	サイトサポート・インスティテュート(株) シミックヘルスケア(株) シミックキャリア(株)
<b>IPM事業</b>	グループが保有する製造販売業等の許認可（知的財産）とバリューチェーンを組み合わせた新たなビジネスソリューションを製薬企業等に提供する事業	シミックホールディングス(株) シミックCMO(株) (株)オーファンパシフィック

# 当期の主な取組み

## “Project Phoenix ～持続的成長を実現するための取組み～”を推進するとともに “2019-2021中期計画”をスタート

- 重点取組事項**
- ◆PVCモデルに加え、製造販売業の許認可を組み合わせたIPMソリューションビジネスの加速
  - ◆エリア競争力の強化とグローバル化の促進
  - ◆ヘルスケアビジネスの創出

### CRO事業

- ▶ PVC案件やグローバル試験の受注強化、専門性・技術力ある人材の育成

### CDMO事業

- ▶ 足利工場新注射剤棟の受注活動促進

### CSO事業

- ▶ 高度な専門知識とディテールリングスキルを持ったMRの育成

### ヘルスケア事業

- ▶ 2020年1月付 SMO会社とヘルスケアサービス子会社を合併  
臨床試験支援ノウハウと、疾病予防・健康情報やIT技術を融合し、新たなヘルスケアビジネスの創出へ
- ▶ 電子お薬手帳「harmo」事業の展開促進

### IPM事業

- ▶ IPMプラットフォーム提供による海外製薬企業の日本市場進出支援

# 連結損益計算書（要約）

	2019/1Q		2020/1Q		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	17,399	100.0	<b>19,800</b>	100.0	2,400	13.8
営業利益	965	5.5	<b>923</b>	4.7	△42	△4.4
経常利益	861	5.0	<b>911</b>	4.6	50	5.8
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	536	3.1	<b>481</b>	2.4	△55	△10.3
1株当たり 四半期純利益	28円 89銭		<b>26円 63銭</b>			

売上高は、CDMO事業及びCSO事業が伸長したことにより、前年同期を上回る。

営業利益は、CDMO事業及びCSO事業が改善したものの、CRO事業が減益となったこと等により前年同期を下回る。



# 営業外損益・特別損益・税金の内訳

(百万円)

2019/1Q 2020/1Q

2019/1Q 2020/1Q

	2019/1Q	2020/1Q
営業外収益内訳	32	51
受取利息	1	1
為替差益	—	20
受取賃貸料	5	5
その他	25	23
営業外費用内訳	135	63
支払利息	32	30
持分法投資損失	35	15
為替差損	56	—
その他	11	16

特別利益内訳	6	3
固定資産売却益	6	3
特別損失内訳	47	25
固定資産除却損	47	25
税金費用	551	416
法人税等	36	59
法人税等調整額	514	357

# セグメント別売上高および営業利益

		2019/1Q (百万円)	2020/1Q (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	9,106	<b>9,193</b>	87	1.0
	営業利益	2,051	<b>1,541</b>	△509	△24.9
C D M O 事業	売上高	3,384	<b>5,081</b>	1,696	50.1
	営業利益	△377	△42	335	—
C S O 事業	売上高	1,782	<b>2,188</b>	406	22.8
	営業利益	△44	<b>233</b>	277	—
ヘルスケア事業	売上高	2,347	<b>2,392</b>	45	1.9
	営業利益	177	<b>97</b>	△79	△45.1
I P M 事業	売上高	954	<b>1,149</b>	194	20.4
	営業利益	△12	<b>51</b>	64	—
調 整 額	売上高	△176	△ <b>205</b>	△29	—
	営業利益	△828	△ <b>958</b>	△130	—
合 計	売上高	17,399	<b>19,800</b>	2,400	13.8
	営業利益	965	<b>923</b>	△42	△4.4

当第1四半期より報告セグメントの区分を一部変更、前第1四半期の業績及び前年同期比較は、変更後の区分のものに組み替えて表示。

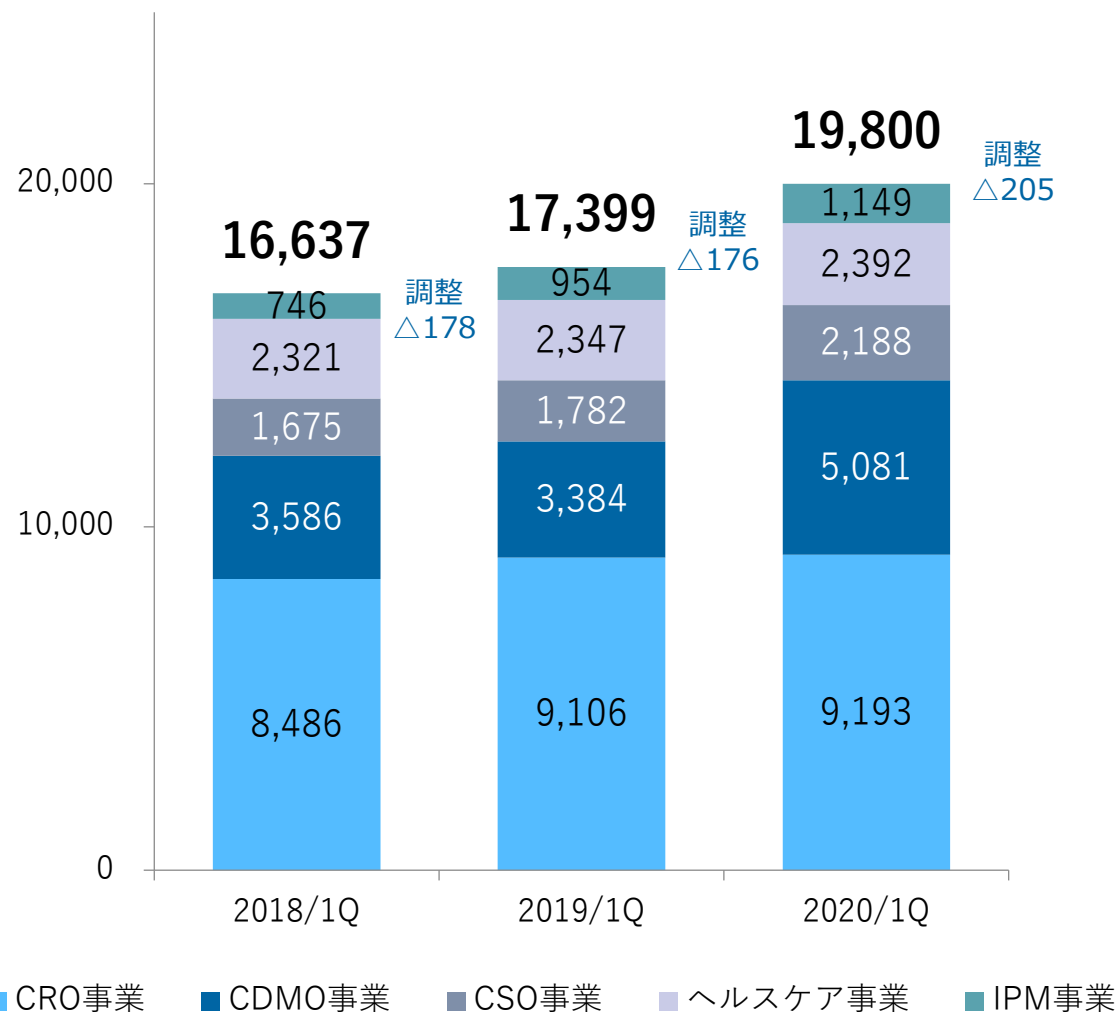
# 受注高・受注残高

	2019/1Q		2020/1Q			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	7,903	54,312	<b>9,187</b>	16.2	<b>53,668</b>	△1.2
C D M O 事業	4,195	4,657	<b>5,062</b>	20.7	<b>5,313</b>	14.1
C S O 事業	2,595	4,075	<b>1,988</b>	△23.4	<b>3,823</b>	△6.2
ヘルスケア事業	2,717	10,456	<b>2,984</b>	9.8	<b>11,927</b>	14.1
合 計	17,411	73,501	<b>19,222</b>	10.4	<b>74,733</b>	1.7

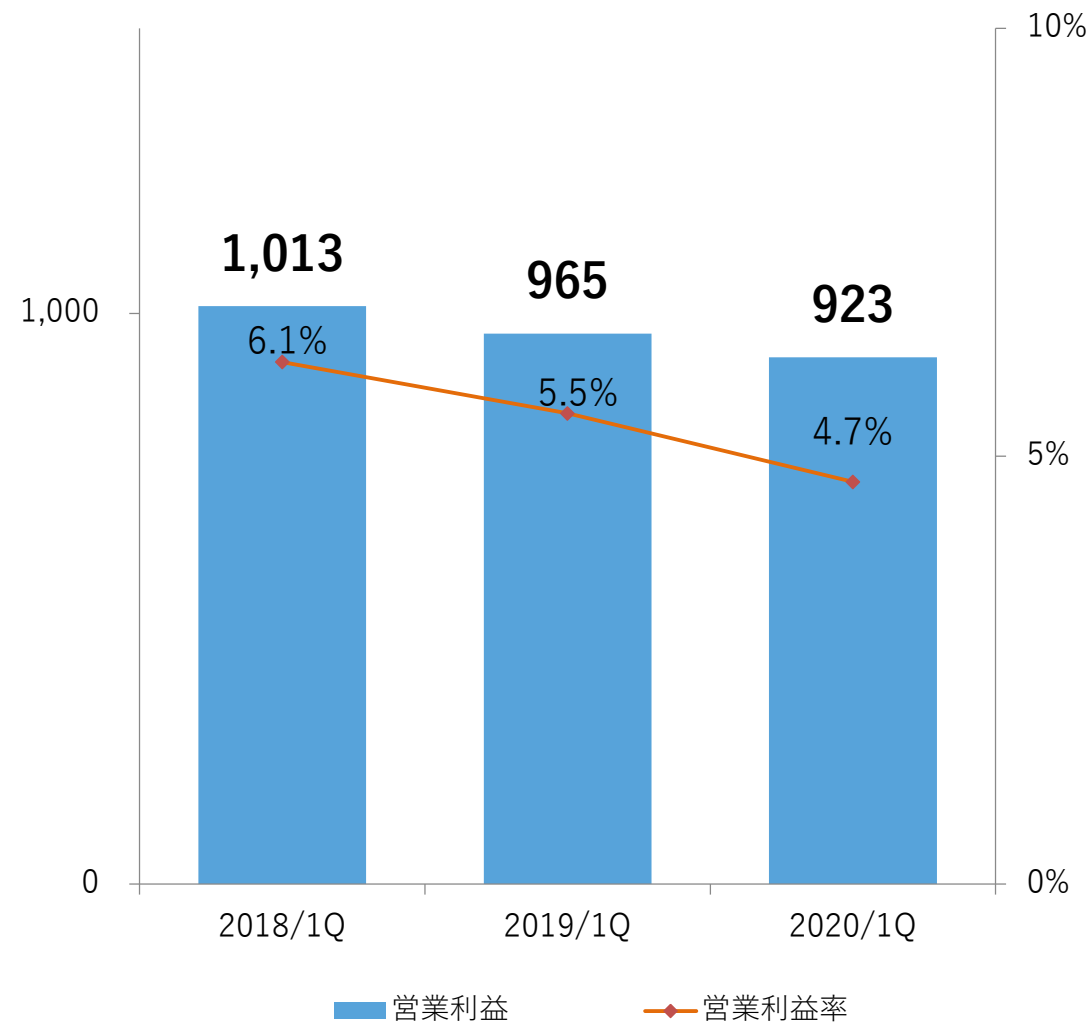
- CDMO事業は2019年6月にグループ会社となったシミックCMO西根が寄与。CSO事業の受注高減少は、前年同期の大型案件受注の反動。
- CDMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない。また、IPM事業は受託事業と業態が異なるため、受注実績から除外している。
- 当第1四半期より、報告セグメントの区分を一部変更、前第1四半期の受注高及び受注残高は、変更後の区分のものに組み替えて表示。

# 連結売上高および営業利益の推移

【売上高 (百万円)】



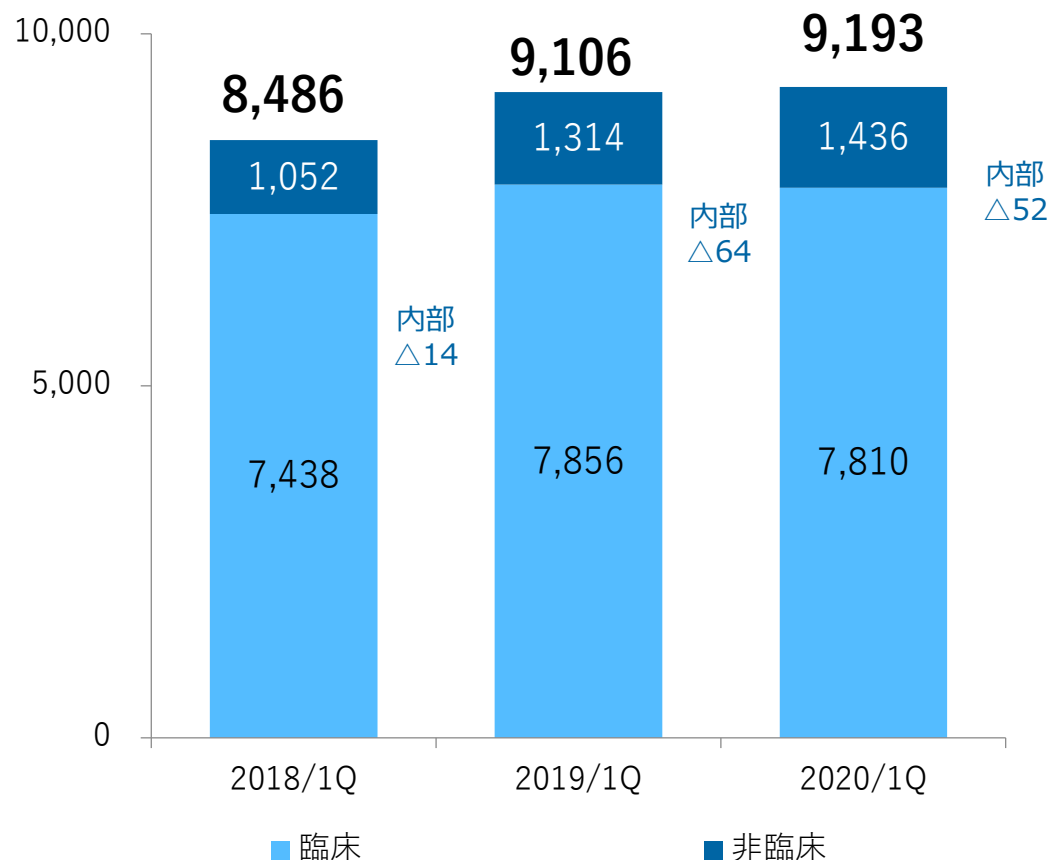
【営業利益 (百万円)】



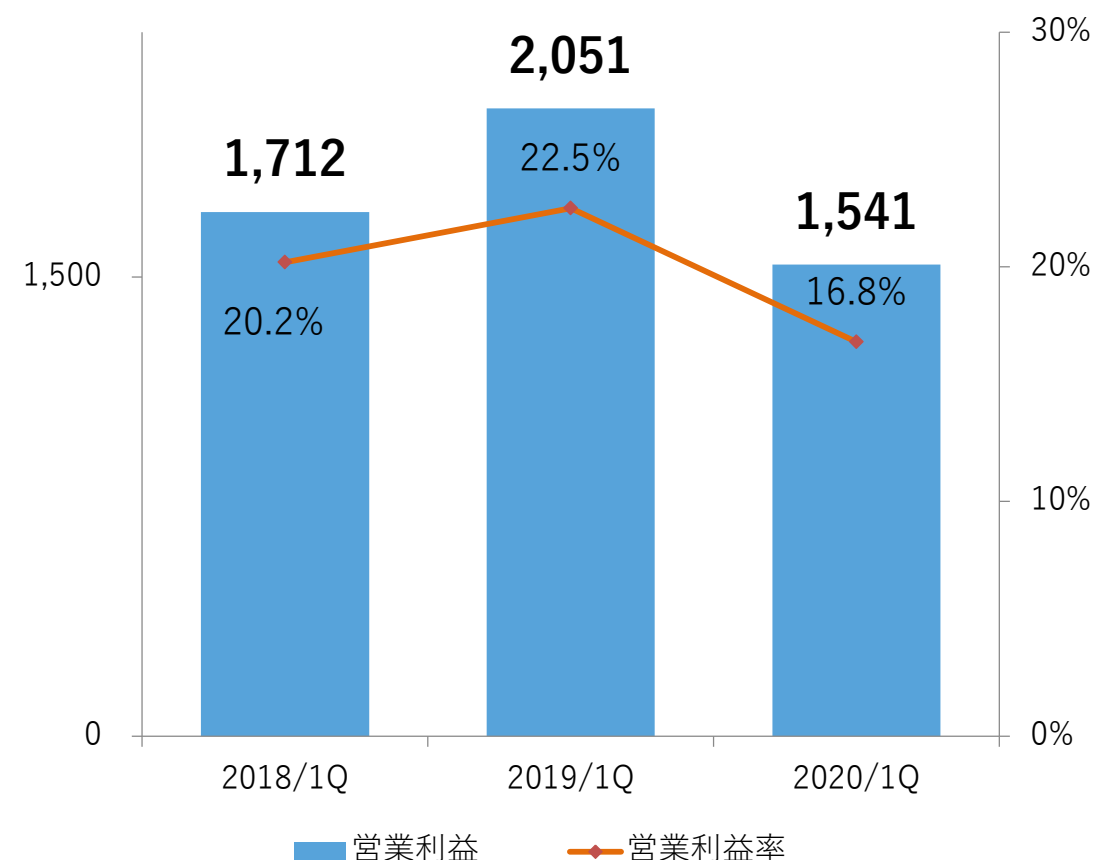


# 医薬品開発支援（CRO）事業

【売上高（百万円）】



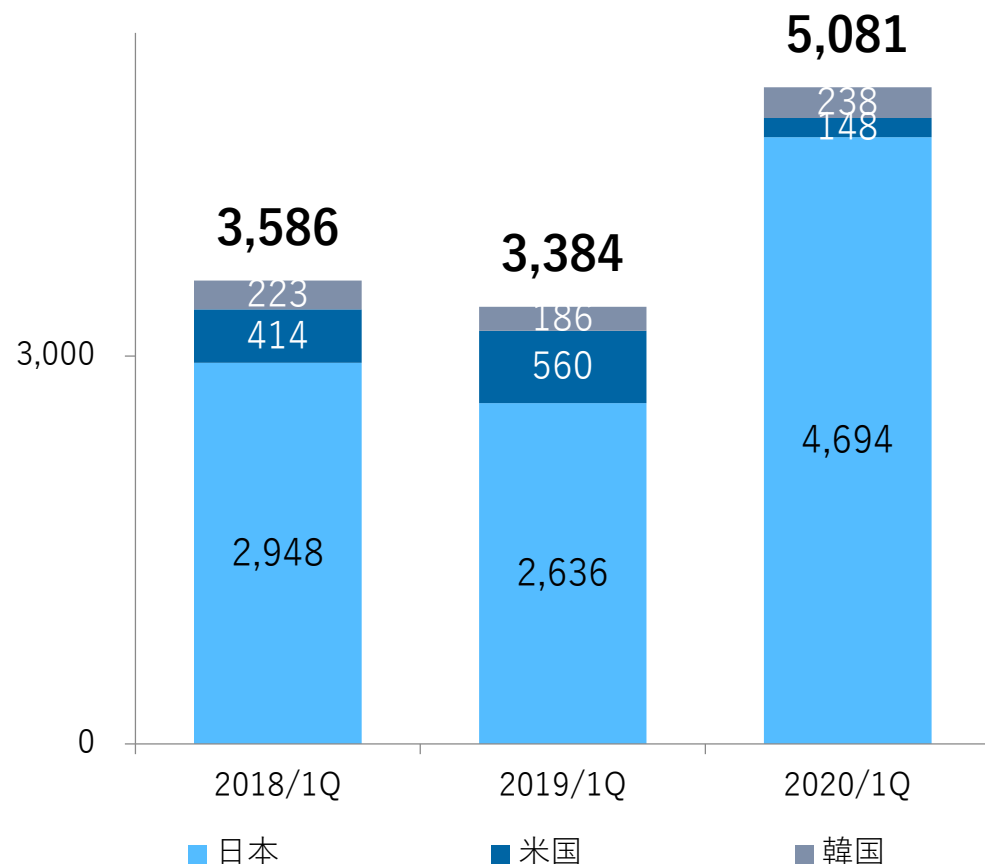
【営業利益（百万円）】



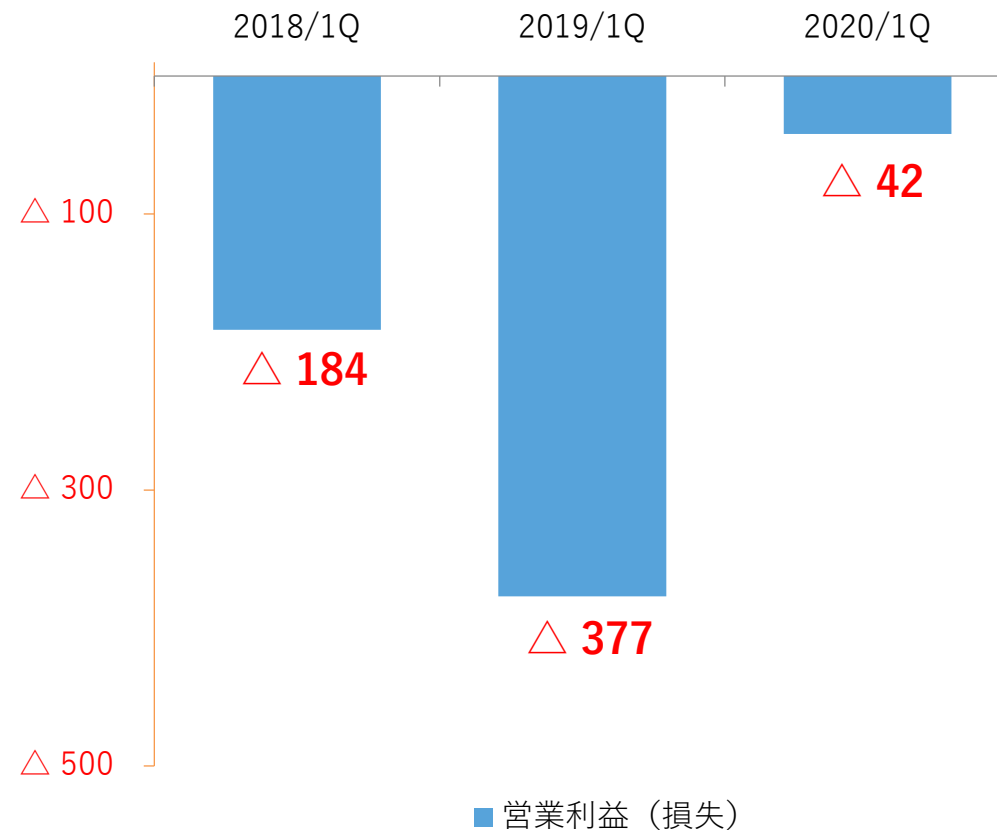
海外企業の日本市場参入や異業種のヘルスケア市場参入支援、バイオ医薬品や再生医療等製品など高度化する開発ニーズへの対応を促進。同一案件にグループの複数の事業が関与するPVC案件やグローバル試験の受注強化と、人材の専門性及び技術力向上に注力。売上高は前年同期並み。営業利益は、臨床業務で稼働率の低下と不採算プロジェクトの計上があったこと等により前年同期を下回る。

# 医薬品製剤開発・製造支援（CDMO）事業

【売上高（百万円）】



【営業利益（百万円）】

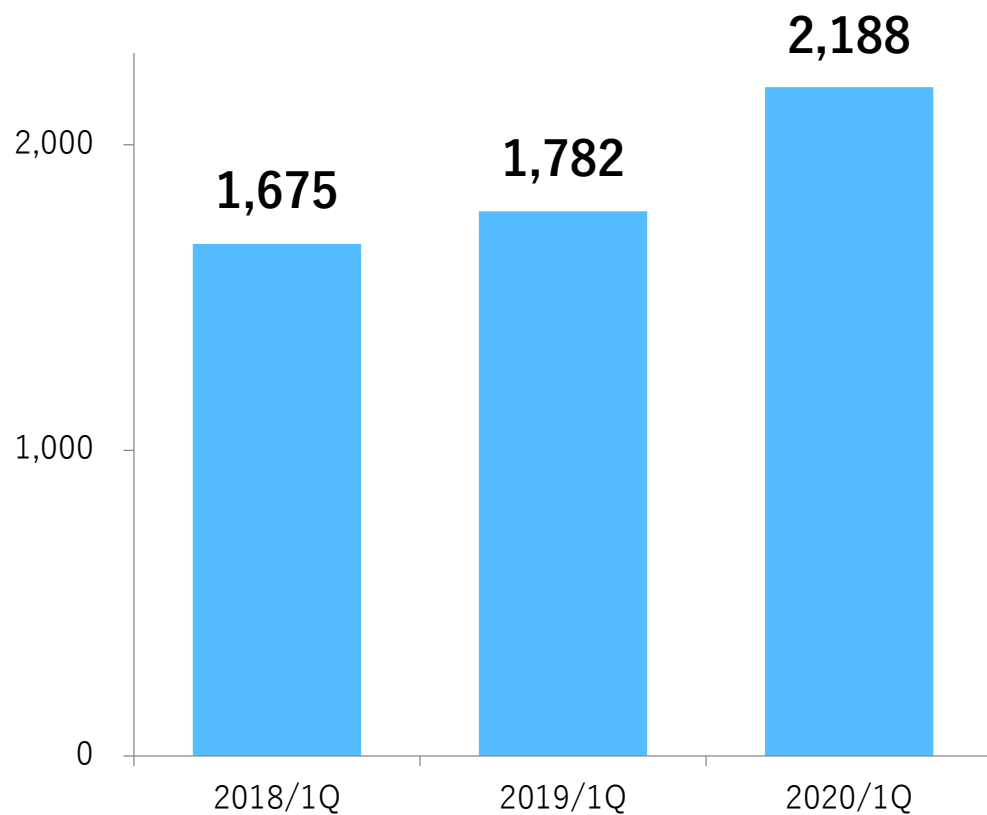


製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで、グローバルに展開する医薬品製造のプラットフォームとして、技術力の更なる向上とローコスト生産体制の進展、戦略的な設備投資を通じた競争力強化を図る。

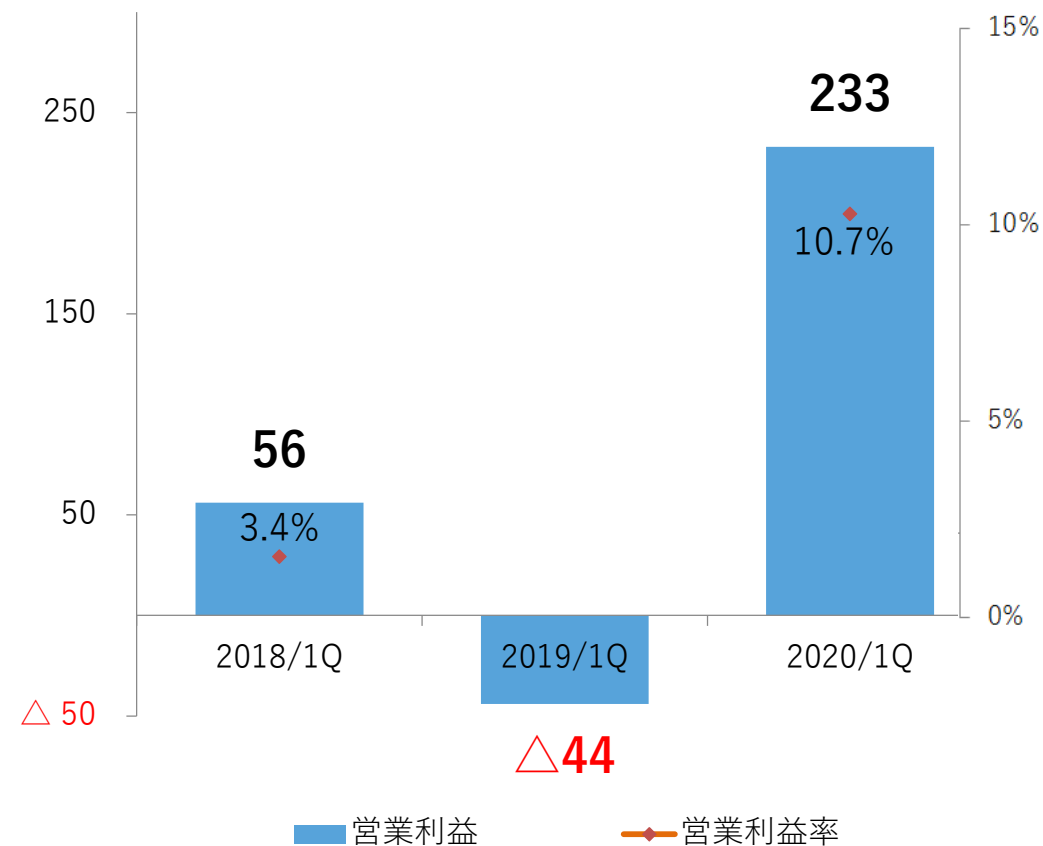
売上高は、国内における受託生産量の増加と、2019年6月に事業を開始したシミックCMO西根の寄与等により、前年同期を上回る。足利工場新注射剤棟の減価償却費の計上及び米国における受託生産量減少の影響等により営業損失を計上しているが、損失額は減少。

# 医薬品営業支援（CSO）事業

【売上高（百万円）】

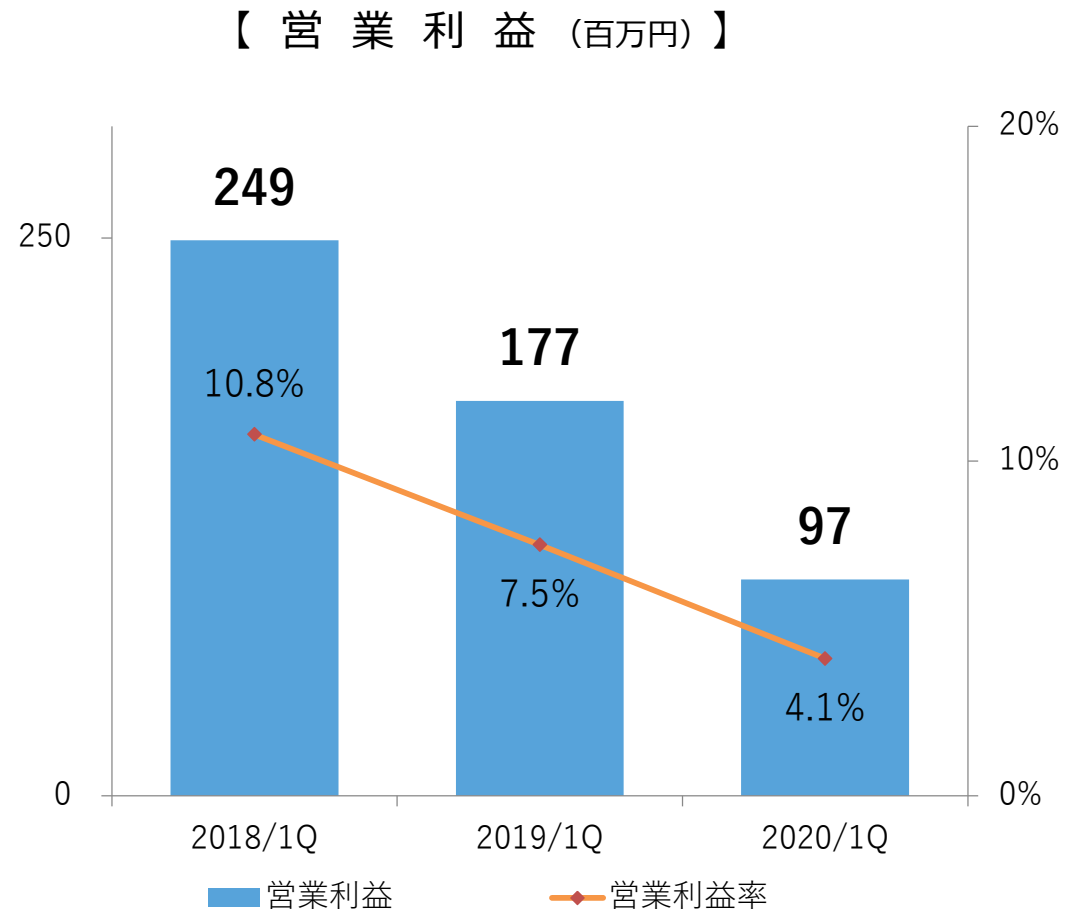
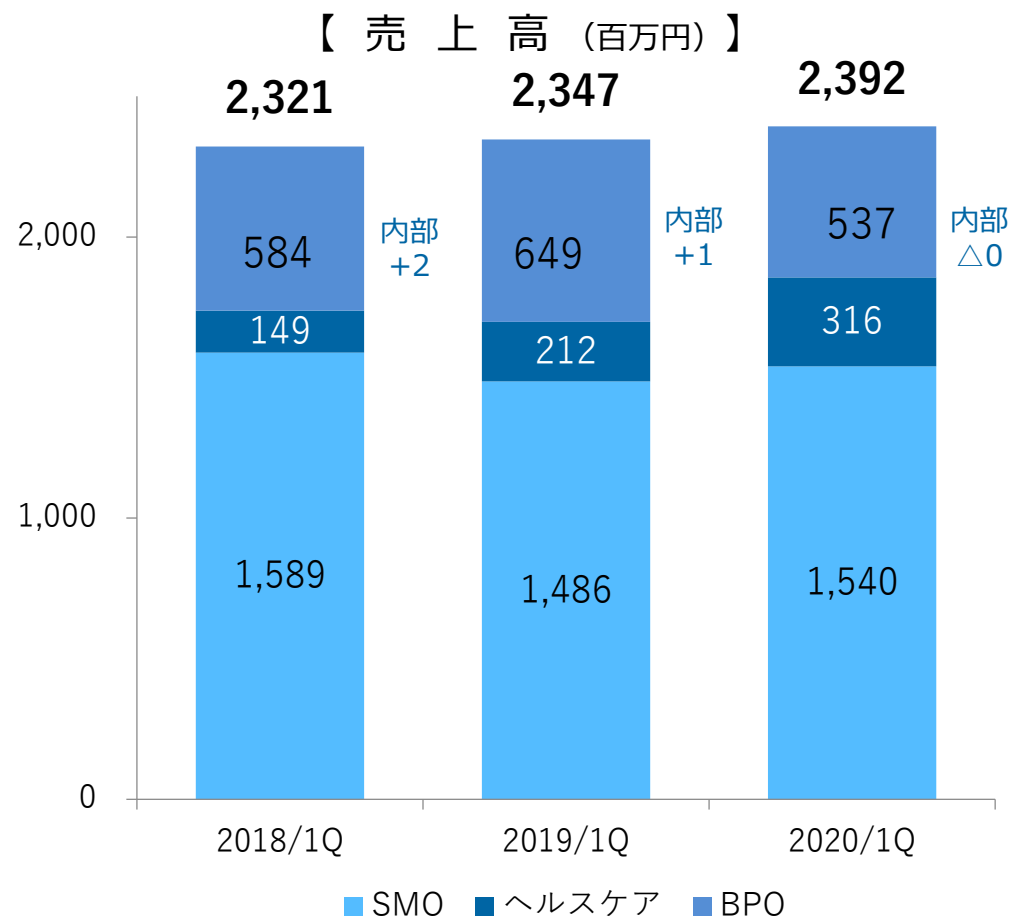


【営業利益（百万円）】



MR派遣業務の堅調な引き合いに応じて、人材の確保に注力。メディカルアフターズ関連業務の営業活動を強化。売上高及び営業利益は、前期に獲得したMR派遣業務の案件が堅調に進捗したこと等により、前年同期を大幅に上回る。

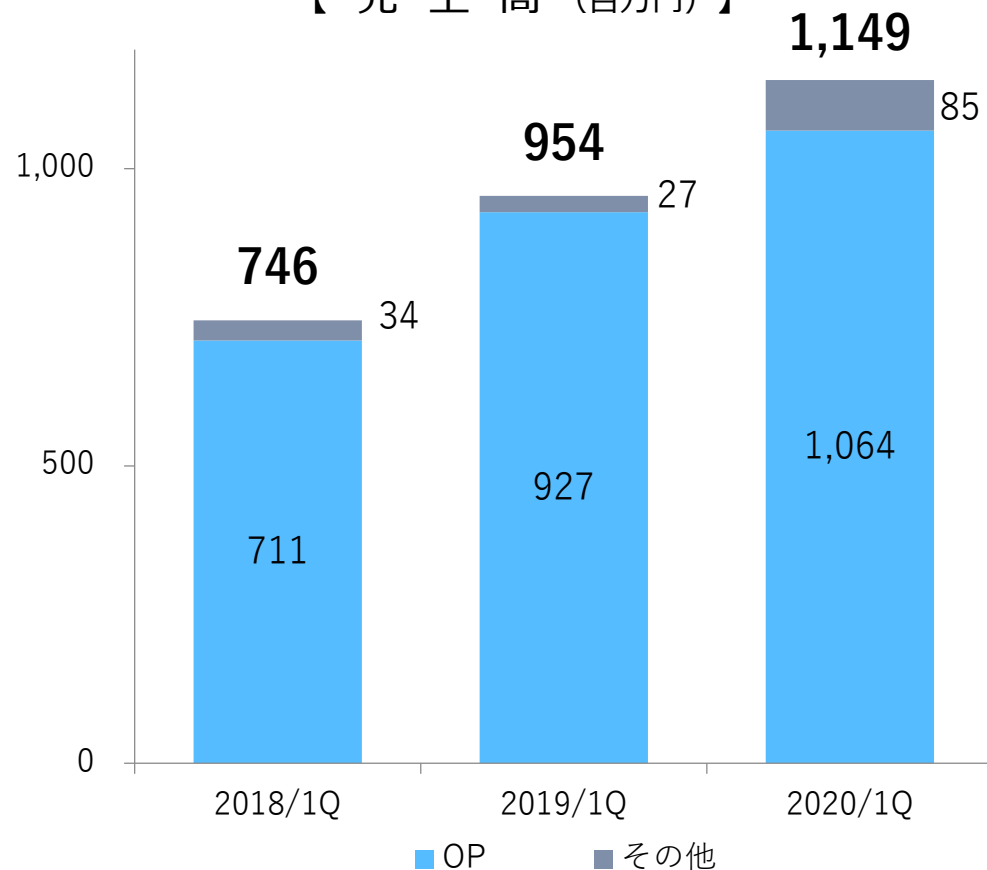
# ヘルスケア事業



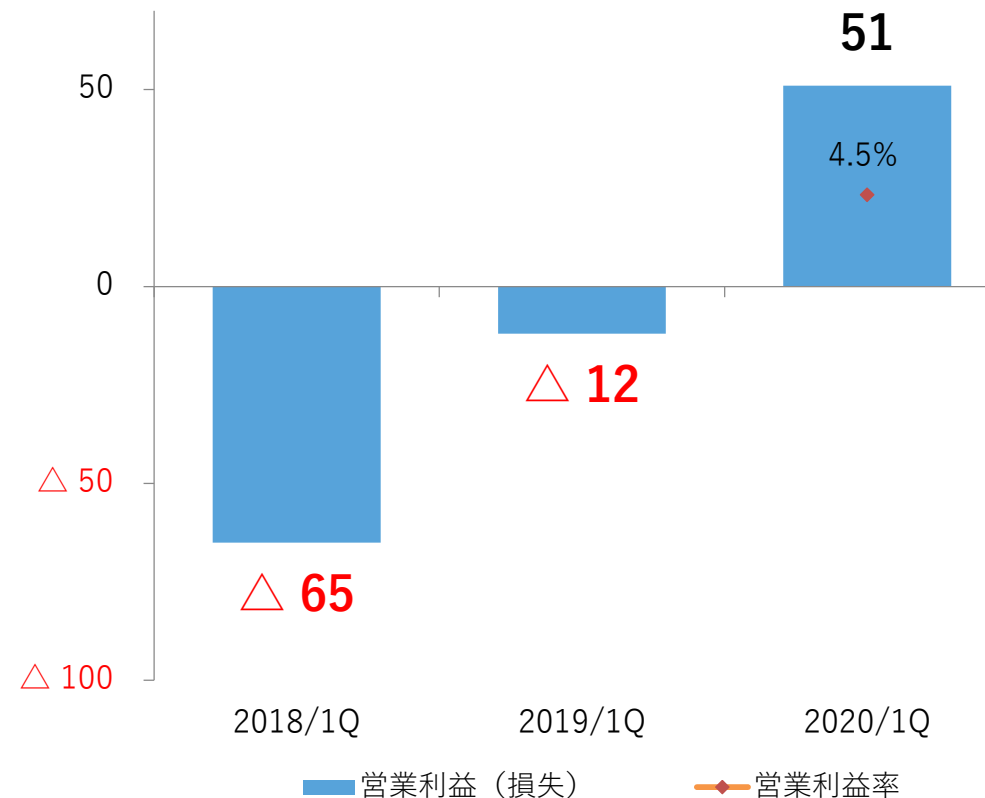
SMO業務の新規受注確保と、新規ヘルスケアビジネスの早期収益化に取り組む。  
売上高は、SMO業務及びヘルスケアサービスともに伸長し、前年同期を上回る。  
営業利益は、新たなヘルスケアビジネス創出のための先行投資が発生したことにより、前年同期を下回る。

# Innovative Pharma Model ( IPM ) 事業

【 売上高 (百万円) 】



【 営業利益 (百万円) 】



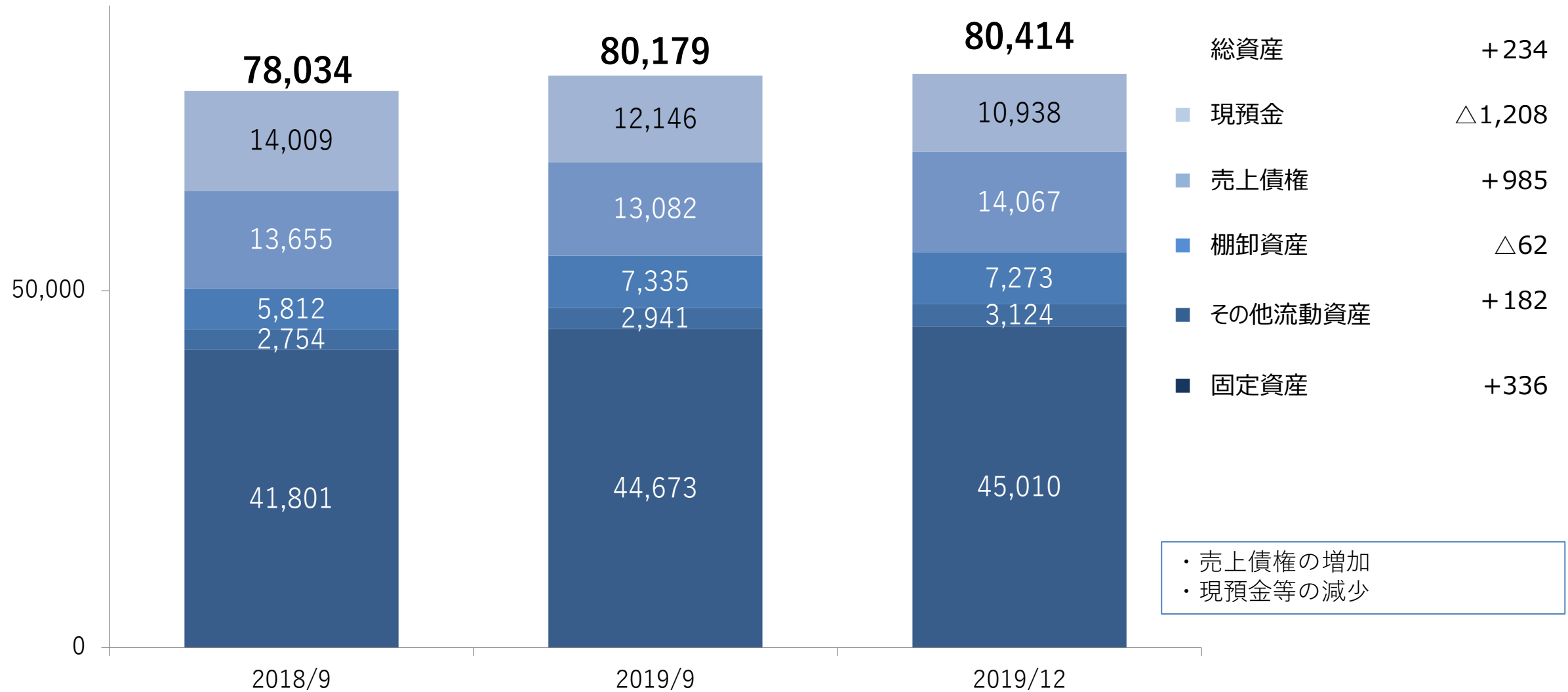
自社開発品を含むオーファンドラッグ等の販売や、海外製薬企業の日本市場進出支援、製薬企業のビジネスモデル変化に応じた戦略オプションの提供等を行う。

売上高は、オーファンドラッグ等の販売増加により前年同期を上回り、営業黒字を計上。



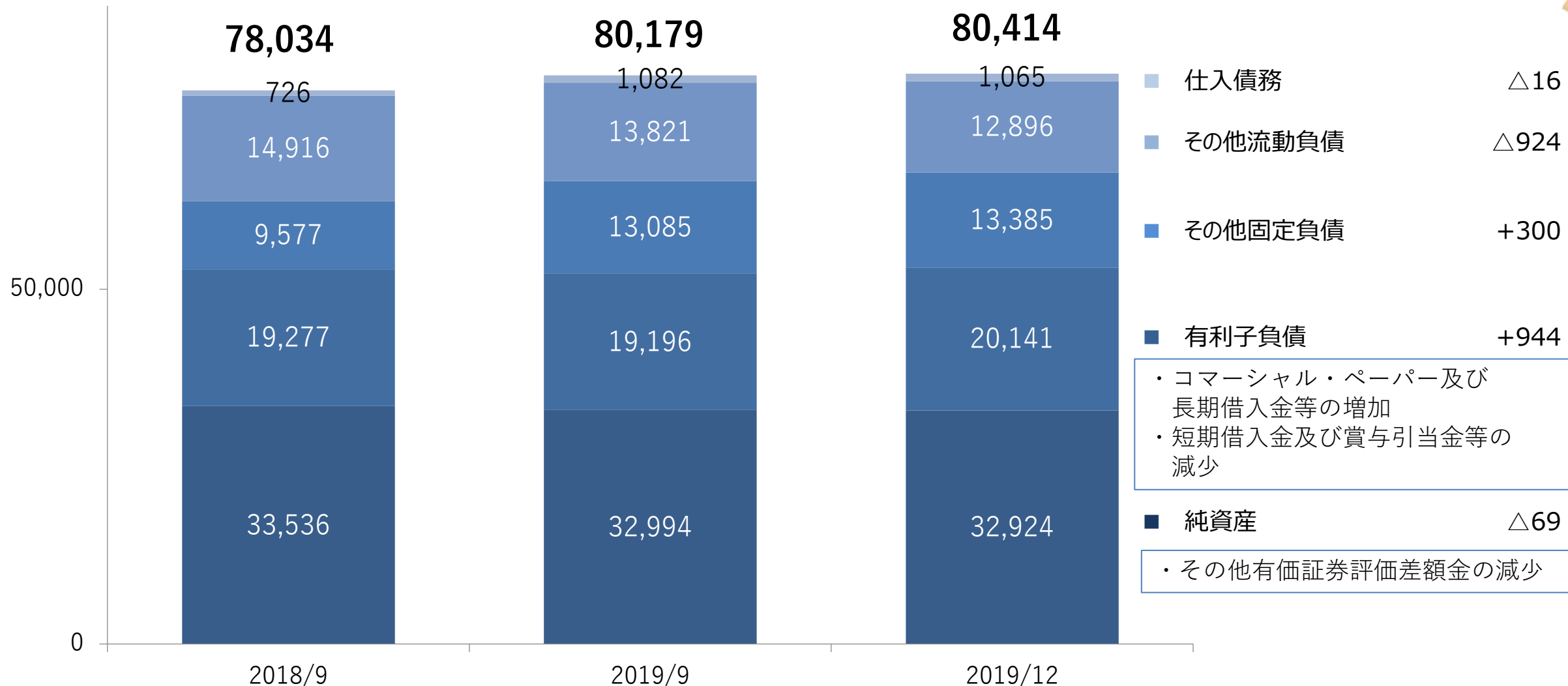
# 連結貸借対照表（資産の部）

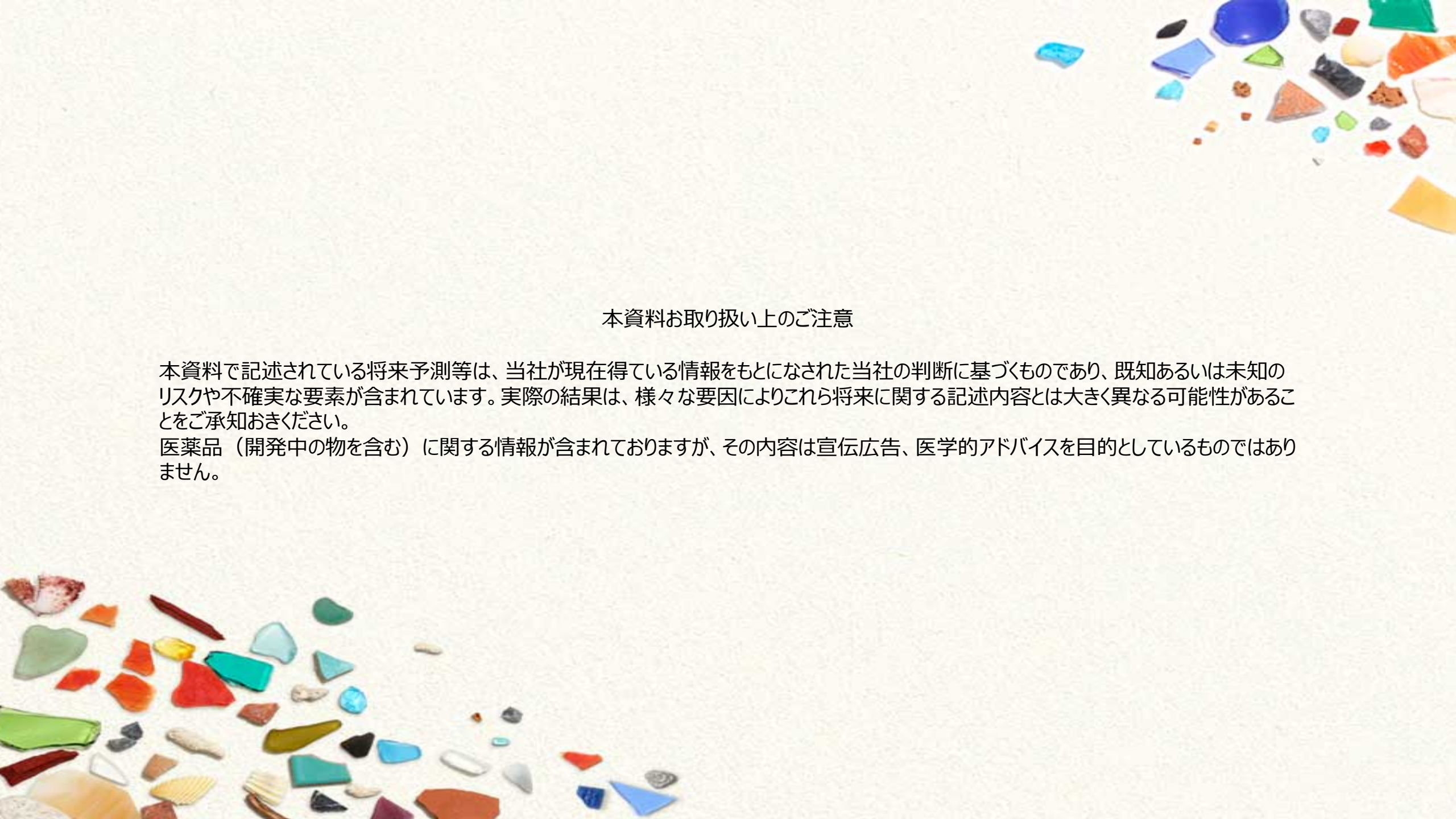
(百万円)



# 連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）

(百万円)





## 本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中の物を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。